

政策	1章 政策5	スポーツに親しむ環境をつくる	
主管課	観光・スポーツ振興課	関係課	建設課

1. 政策の方針・指標・関係者の意見等

(1) 政策の対象と方針

対象	政策の方針
市民 スポーツ団体	生涯スポーツや競技スポーツ等、多様化する市民スポーツニーズに応え、誰もがスポーツを身近で楽しむ環境を整え、心身の健康、青少年の健全育成および地域社会の活性化を図ります。また、本市の魅力をいかしたスポーツツーリズムを推進するために、全国大会誘致やイベント開催にむけた環境整備を進め、選手や観戦者等の宿泊・観光等の受け入れ体制の構築を図ります。

(2) 政策の基礎的データとなる指標

基礎的指標		単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	人口	人	見込値								63,241
			実績値	61,646	62,099	62,270	62,185	62,590	62,406	62,255	
②	体育協会登録団体数	団体	見込値					26	26	26	26
			実績値	26	26	26	26	26	26	26	
③			見込値								
			実績値								

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト

指標区分		指標	単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (前期目標値)	
A	総合計画	市主催のスポーツ教室・イベント参加者	人	目標値				7,416	7,638	7,868	8,104	8,400	
				見込値					5,500	6,500	7,500	8,500	
				実績値	7,596	7,259	282	18	3,791	6,531			
B	総合計画	県民体育大会成績	位	目標値					8	8	8	7	
				見込値					8	8	8	7	
				実績値	9	11	-	-	6	11	10		
C	総合計画 (総合戦略)	全国大会・合宿誘致数	件	目標値				13	13	14	14	15	
				見込値					12	13	14	15	
				実績値	12	8	1	4	9	15			
D	総合計画	市管理のスポーツ施設利用者	人	目標値					160,000	160,000	300,000	305,000	
				見込値					150,000	294,100	300,000	355,000	
				実績値	278,112	231,270	81,991	116,213	267,389	277,828			
E	参考	全国大会・合宿誘致で使われた施設利用延べ日数・人数	日/人	目標値					95日/5,250人	97日/5,450人	97日/5,450人	102日/5,750人	
				見込値					78日/4,065人	85日/5,105人	85日/4,355人	90日/4,915人	
				実績値	109日/6,311人	87日/3,784人	14日/770人	30日/1,656人	80日/4,035人	91日/5,460人			
F				目標値									
				見込値									
				実績値									
G				目標値									
				見込値									
				実績値									
H				目標値									
				見込値									
				実績値									
施策コスト	事業費			千円				181,143	463,420	781,529	0	0	
	国・県支出金			千円				101,587	308,476	603,977			
	地方債			千円				25,400	50,692	145,490			
	その他			千円				36,759	6,678	0			
	一般財源			千円				17,397	97,574	32,062			
施策に係る事務事業の合計額													

※令和4年度以前の数値については、把握できるもののみ入力。

(4) 総合計画等の指標の設定理由及び目標値・見込値の考え方

A	総合計画	市主催のスポーツ教室・イベント参加者
	設定理由	市民がスポーツに親しんでいるかどうか、市が主催や共催等をするスポーツ教室及びイベントの参加者数から把握する。(観光・スポーツ振興課資料)
	目標値	令和元年度実績の7,200名を基準として、令和3年度以降は前年度比3%増を目指す。
	見込値	令和5年度のいとまん平和マラソンは、糸満バイパスをコースに組み込むなど魅力向上に取り組んでいる。引き続きいとまん平和マラソンの魅力向上に取り組むほか、対象となるスポーツ教室やイベントなどの参加者数を的確に把握し、目標達成を見込む。
B	総合計画	県民体育大会成績
	設定理由	競技力向上の観点から、県民体育大会における糸満市の順位を把握する。(観光・スポーツ振興課資料)
	目標値	人口が同規模程度の名護市が平成30年度に5位だったことから、令和12年度に同じ順位を目指し、令和7年度は中間の7位を目指す。
	見込値	過去の最高順位及び令和4年度の地元開催による選手の強化を継続することにより、一桁の順位を目指す。
C	総合計画(総合戦略)	全国大会・合宿誘致数
	設定理由	スポーツツーリズムの推進に向けて効果が期待される、全国大会・合宿誘致の件数を把握する。(観光・スポーツ振興課資料)
	目標値	平成30年度実績値を基に、2年ごとに1件の割合で合宿及び全国大会件数の追加を目指す。
	見込値	西崎運動公園等の施設整備により、秋季キャンプや平日を利用した合宿誘致の推進のほか、全国大会の誘致に取り組むことなどで目標達成を目指す。
D	総合計画	市管理のスポーツ施設利用者
	設定理由	市民がスポーツに親しんでいるかどうか、市管理のスポーツ施設利用者数から把握する。(指定管理者報告書)
	目標値	令和7年度は、平成30年度の実績から約10%の増加を目指す。(令和12年度は約20%増加を見込む。)
	見込値	令和2年度から令和3年度の伸び(3万4千人程度)が令和4年度にも見込まれる。令和5年度はレクリエーションプールの入場制限の緩和があった。令和6年度においては、コロナ禍前(平成30年度)の水準に返ることが予測され、令和7年度は、屋内運動場の供用開始による利用者の増加を見込む。
E	参考	全国大会・合宿誘致で使われた施設利用延べ日数・人数
	設定理由	スポーツツーリズムの促進の観点から、全国大会・合宿誘致で使われた施設利用延べ日数・人数を把握する。
	目標値	平成30年度の実績を基に、2年ごとに1件の合宿及び全国大会の開催件数の増加を目指し、それに伴い、施設利用延べ日数及び利用人数の増加を目指す。
	見込値	平成4年度は全国大会・合宿12件(延べ日数78日/4,065日)、令和5年度はペタンク全国大会含む13件(85日/5,105人)、令和6年度は13件(85日/4,355人)、令和7年度は(90日/4,915人)を見込む。
F		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
G		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
H		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	

(5) 環境変化（個別計画策定状況、近年・今後の外部環境の変化等）

・令和6年度に屋内運動場が完成、令和7年度に屋内ブルペンが完成予定。 ・西崎運動公園の施設整備（機能強化）に伴い、県内外からスポーツ合宿やイベントの問い合わせが増加している。 ・2034年（令和16年）第88回国民スポーツ大会、第33回全国障害者スポーツ大会の沖縄県開催が決定している。 ・2026年から日本フットボールリーグの開幕が春（3月）から秋（9月）に変更となった。
--

(6) 関係者の意見・要望

・議会から、市体育協会の指導者育成の要望がある。 ・議会や市体育協会、施設管理者から、体育施設の老朽化対策、施設改修の要望がある。 ・市民等から、いとまん平和マラソンでの20キロコース新設の要望がある。

2. 政策の実績評価

(1) 令和7年度（前期目標値）の指標の達成見込み

指標A	総合計画	【市主催のスポーツ教室・イベント参加者】					
	<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難				
理由	西崎運動公園の施設整備（機能強化）に伴う新たなスポーツ教室やイベントの開催、いとまん平和マラソンでの20キロコース新設による参加者数の増加、スポーツキャンプとスポーツ教室の併催による参加者数の増加等を図り目標達成を目指す。						
指標B	総合計画	【県民体育大会成績】					
	<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難				
理由	令和6年度は10位で目標としていた7位には届かなかったが、得点差は10点と十分に追いつける範囲であったと考える。今後は、加盟競技団体と連携し、優秀な選手の発掘・育成に力を入れることで総合成績を向上させ、もって目標達成を目指す。						
指標C	総合計画（総合戦略）	【全国大会・合宿誘致数】					
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難				
理由	スポーツキャンプ等の需要が春季（1月～3月）に集中し、特に野球場や陸上競技場の予約が困難であった。令和6年度に屋内練習場が整備されたことにより、今後は年間を通して多様なスポーツ競技の全国大会やスポーツキャンプを誘致できるようになることから、目標達成が見込まれる。						
指標D	総合計画	【市管理のスポーツ施設利用者】					
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難				
理由	・令和2・3年度は、有料施設の利用制限を行ったことで利用者数が激減したが、令和4年度からはコロナ禍前の利用者数に戻りつつある。 ・屋内運動場の供用開始により、令和7年度から新たなイベントの開催等で利用者数の増加が見込まれ、もって目標達成が見込まれる。						
指標E	参考	【全国大会・合宿誘致で使われた施設利用延べ日数・人数】					
	<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難				
理由	・スポーツキャンプ等の需要が春季（1月～3月）に集中し、特に野球場や陸上競技場の予約が困難であった。しかし、屋内練習場などの施設整備により、年間を通して多様なスポーツ競技の全国大会やスポーツキャンプを誘致できるようになったことから、施設利用日数、人数等の増加を目指す。						
指標F		【					
	<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難				
理由							
指標G		【					
	<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難				
理由							
指標H		【					
	<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難				
理由							
指標の数	5指標	うち現在の計画、取り組みにより目標達成見込み	2指標 (40.0%)	うち新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	3指標 (60.0%)	うち現在の想定では目標達成が困難	0指標 (0.0%)

(2) 前年度比較（令和4年度の市の取り組み・成果との比較）

評価	成果がどちらかと言えば向上した	【5段階評価】 かなり向上～どちらかと言えば向上～ほとんど変わらない～どちらかと言えば低下～かなり低下
理由	令和4年度以前は、コロナ禍等によりスポーツイベントの中止・縮小を余儀なくされ参加者数は減少したが、令和5年度以降は増加に転じた。また、市管理のスポーツ施設の利用者数についても同様に増加に転じている。	

(3) 他自治体との比較（令和5年度の実績の県内他市等との状況比較）

評価	他自治体と比べてどちらかと言えば高い（良い）水準である	【5段階評価】 高い水準～どちらかと言えば高い水準～ほぼ同水準～どちらかと言えば低い水準～低い水準	比較対象	県内11市
理由	スポーツツーリズムは沖縄県が力を入れている分野であり、多くの自治体で取り組みが進んでいる。屋内運動場の完成に伴い、プロ野球のキャンプ地となっている他市と同水準の環境となる。また、空港からのアクセスが良好なことは、他市と比較して移動負担が少なく優位性がある。			

3. 政策を推進する上での現状と課題及び今後の取組方針

(1) 令和6年度の現状（令和5年度の実績を踏まえた政策（施策の展開）の取り組み）

・スポーツ施設は概ね充足しているものの、老朽化が進行している。（西崎運動公園のスポーツ施設の整備から30年以上が経過し、老朽化が進行している。） ・西崎球場及び多目的広場の黒土が大雨や台風時に流失してる。 ・参加者アンケートの結果等を踏まえ、参加者のニーズに合ったスポーツ教室を実施している。さらに、地域巡回スポーツ教室の在り方改善に取り組み、積極的に情報発信をし、多くの市民にスポーツの機会を提供した。 ・いとまん平和マラソンは、SNS等を活用した情報発信の強化、沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）や県内旅行業者との連携によるパッケージツアーの企画、沿道でのハイタッチ応援隊による盛り上げなど、多角的な取り組みを実施した。この結果、目標の3,000人を上回る3,400人の参加者があった。 ・西崎運動公園においては、屋内練習場の整備に伴い、より充実したスポーツ環境の提供が可能となった。 ・スポーツ施設の利用において、スポーツイベントと市民利用のバランスを図るため、スポーツ施設優先利用取扱要綱を整備し、地域住民のニーズへの配慮、利用の公平性と透明性に取り組んだ。 ・県及び市内関係団体と連携し、プロ・アマスポーツチームのキャンプ誘致や大会開催を積極的に推進した。また、豊見城市と共催でデフバレーボール世界大会を開催し、スポーツイベントにおける広域連携、障害者スポーツの推進、国際的なスポーツイベントの誘致実績を上げることができた。
--

(2) 令和6年度の課題（政策（施策の展開）を推進する上での課題）

・スポーツ施設の老朽化及び管理体制に課題がある。 ・大規模イベントの誘致・開催には負担金を求められるケースが多く、財源確保が困難。 ・体育協会の組織強化、特に加盟団体の競技力向上を目指す必要がある。 ・スポーツキャンプ等受入協力会会員から、キャンプ受入の情報共有を図ることを目的に販売部会等の結成が求められている。 ・プロスポーツキャンプの誘致に伴い、施設的环境整備・機能向上（多目的室の常設、防球ネット増設、ウエイトトレーニング室の常設等）が求められている。 ・スポーツキャンプ等の実施要望時期が1～3月の春季に集中していることから、平準化を図るため春季以外の誘致が必要。 ・少子化等の影響により、少年少女駅伝大会の参加自治体数が減少しており、令和6年度は9自治体の参加にとどまった。 ・スポーツコンベンションの周知不足（施設、宿泊、交通機関等の紹介）。

(3) 令和7年度の取組方針（令和6年度の現状・課題を踏まえ、令和7年度に優先的に取り組む予定のもの）

・スポーツ施設の老朽化対策、野球場及び多目的広場のグラウンドの維持管理を行う。 ・スポーツ施設のメンテナンスによる管理強化や、年次的な整備更新により充実を図る。 ・令和5年度に実施設計を行っているブルペン及び多目的室の整備に取り組む。 ・例年、春季キャンプ前に西崎球場の土の入れ替えなどが必要になっており、関係予算を確保する必要がある。 ・沖縄県や観光協会等と連携し、各種スポーツキャンプ、合宿やイベント、競技大会等のスポーツコンベンションの誘致・開催に取り組む。 ・西崎運動公園の屋内運動場と屋内ブルペンの整備を契機に、沖縄県における新たなスポーツコンベンションの拠点として、積極的に周知活動（関連団体へのDM発送・視察受入・スポーツ関連イベントへの出店・ウェブサイトの開設等）を行う。 ・スポーツキャンプ等受入協力会について、販売部会等の各種部会を結成し会員同士の情報共有を行い、組織の機能強化を図る。 ・少年少女駅伝大会の参加自治体減少を受け、同大会を新春マラソンと統合し、より多くの人が楽しめるようイベント内容の見直しを進める。 ・いとまん平和マラソンについて、より多くのランナーが参加できるよう人気の高い20キロコースの新設に取り組む。 ・企業版ふるさと納税を活用し、民間企業から人材を受け入れ、民間企業が多様な資源やノウハウを導入し、本市スポーツイベント等の質の向上を図る。
--